

三矢の訓

令和3年12月23日 発行



12/6 修学旅行

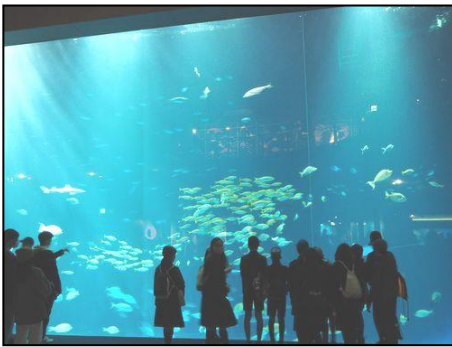


与島SA

昨年同様に、コロナウイルス感染防止のため、日帰りの旅行とはなりましたが、今年も四国へ修学旅行に行ることができました。香川県の「四国水族館」「NEWレオマワールド」です。

1週間前までの天気予報では、雨の確率も高かったのですが、近づくにつれ確率も下がり、当日は天候に恵まれての旅行になりました。子どもたちの強運に感心しました。

月曜日ということもあってか、他のお客さんは比較的少なく、ゆったりと見たり遊んだり、買い物をしたりすることができました。



ニューレオマワールド
レオマの名前は、創業者の
「レジャーはオレにまかせろ」
から来ているとか。

四国水族館
昨年、宇多津にオープン
した新しい水族館です。



12/9 学校保健委員会



保護者の方にも参加していただき、学校保健委員会を開催しました。児童の成長や学校での様子などをお知らせし、保健や安全について協議の場をもちました。今年は、少しけがが多く、学校でも気を付けています。学校医の先生方の参加は難しかったのですが、コロナに関する資料をいただきました。

裏もあります

ベルマーク感謝状 ～活動に敬意と感謝の意を表します～



ベルマーク教育助成財団から、感謝状をいただきました。
PTAで取り組んでくださっているベルマーク収集の事業が、総数で「800万点」になったということで、左の感謝状が、伊島小学校に届きました。

1点が1円に相当するということですので、これまでの活動の積み重ねの偉大さを感じます。改めて、PTAの活動に感謝と敬意を表します。

学校では、ボールや楽器（打楽器やその用具）などの購入をさせていただき、おかげで教育活動を充実させることができています。ありがとうございます。

通知表の見方

ご家庭では、通知表はどのようにご覧になっているでしょうか。

通知表は、2学期の学習の記録です。優劣を決めたり、順位を付けたりするものではありません。記録なので「結果」として記すことにはなりますが、大切なのは「過程」です。保護者の方が目を通して、「結果」と「過程」を結び付けるような話をしてくださるとありがたいです。通知表を見て怒ったり、反対にほうびを与えたりし過ぎるよりも、「結果」として受けとめた上で、努力（過程）を誉めたり、努力につながるように励ましたりするようにしてみてください。

また、AやCなどの通知表の記載は、子ども自身の強み（長所）としてとらえたり、今後の課題や励みとして考えたりするように話してみてください。

子どもたちも、年齢が進むと、客観的に見たり多面的に見たりすることができるようになります。あらかじめ予想もつくようになります。そのため「やっぱりな」とか「見なくてもわかるからいいや」という子も出てきます。しかし「やっぱりな」で終わらせるのはもったいないです。「自立」のための材料にしたいものです。

「『やっぱりな』って、わかってたんだね。」とやんわりと受けとめた後、「やっぱりな」と思う根拠や、「やっぱりな」と思った時期（学期の途中で気付いたのか、通知表を配られてから気付いたのか）などについて話してみると、新たな学びにつながる会話や、子どもの成長に合わせた会話になることでしょう。



冬休み 正しく使おうインターネット 伊島小「スマホやゲームの使い方8カ条」

冬休みは、家にいる時間も多くなり、メディアやインターネットを利用する時間も増えるのではないのでしょうか。伊島小「スマホやゲームの使い方8カ条」をお知らせします。ご家庭での指導に、ご活用ください。

- 1 家の人知らないところで、ネット上でお金を使わない。
- 2 知らない人と通信しない。
- 3 自分や友達の個人情報をもらさない。
- 4 人の悪口を書きこまない。
- 5 画面を見るのは9時まで。
- 6 置き場を決める。
- 7 親と話し合っってルールを決める。
- 8 困ったら、大人に相談する。